

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	県立和田山特別支援学校 職・氏名 教諭 原田 哲也	研究チーム名 (共に学ぶ作業学習研究チーム)
-----------------	------------------------------	-----------------------------

研究テーマ分類番号 (9)

(1) 研究テーマ
知肢併置校における作業学習の研究 ～作業習熟度別のワークグループの編成とその授業内容～
(2) 研究経過及び具体的な取組
<p>1 知的障害生徒・肢体不自由生徒・視覚障害生徒などが卒業後へ向けて共に学ぶための具体的な取組について</p> <p>【視覚的支援、構造化についての研究】</p> <p>4月 内容：マットの作成と玉のれんの作業の材料はカゴに入れた。その種類ごとにカゴを色分けし構造化した。</p> <p>成果：生徒が迷わずカゴを取り出せるようになった。</p> <p>〈4月～12月〉</p> <p>【調理実習】</p> <p>内容：インスタントラーメンやカレーなどの調理実習を7回実施した。</p> <p>成果：インスタントラーメンのゆで時間、カレーを煮込む時間など調理時間を計るために個別用キッチンタイマーを使用し、それぞれ個人やグループが、アラーム音やカウントダウンで時間がきたことを知ることができた。</p> <p>【リサイクル品の分別作業】</p> <p>内容：分かりやすく分類するために構造化を図った。</p> <p>成果：個々の机の上、回収場をザル、タッパ、カゴ、バケツの仕分けカゴに入れるように構造化をしたことで、生徒の迷いが少なくなり、分類することができた。</p> <p>【ペットボトル分別の作業】</p> <p>内容：①漏斗を使ってペットボトルの中に水を入れ洗浄した。</p> <p>②ラベルをはがして大きなカゴとビニール袋の中に分別した。</p> <p>③分別したペットボトルはビニール袋に小分けし、近隣のリサイクル会社に納品した。</p> <p>成果：大きなカゴに入れることによって大量のペットボトルを分別した達成感を感じることができた。さらに、企業に納品に行くことで、社会の役に立つ仕事をしている意識を持つことができた。</p> <p>【販売学習のための製作】</p> <p>内容：新聞紙エコバックを制作した。(分業で制作)</p> <p>作成には、メモリが見やすい定規、新聞紙を細く巻くための自助具として細長い箸を使った。</p> <p>成果：お箸を使うことで、力が入りやすく、均一な太さに巻くことができた。</p> <p>2 現状での成果と課題</p> <p>さまざまな障害がある高等部の生徒が共に学ぶために、多くの場面に視覚的支援や構造化を取り入れた。同じ作業ができない場合は、分業をし全員で1つの物を制作した。生徒にとって、「わかって」主体的に取り組むことができる作業内容になったのではないかと感じている。複数の作業を取り入れることと、1つの作業を集中的に取り組むことのバランスを再検討する必要がある。</p>